

理科教育とキャリア形成

理科系大学生におけるキャリア意識の形成と理科教育の役割

○野村照代^A, 中西 徹^B

NOMURA Teruyo, NAKANISHI Tohru

就実大学・GCDF-Japan キャリアカウンセラー^A, 就実大学薬学部^B

【キーワード】 キャリア教育, キャリアカウンセリング

1 目 的

近年、キャリア教育の重要性が認識されつつある。特に理科教育においては、理系への強い動機付けや、将来についてのキャリア意識を高めるような授業が求められている¹⁾。今回、薬学部に入学者を対象に、その進路決定に影響した大学入学以前の様々な要因を聞き取りし、さらに大学で開催する種々のキャリア教育における感想も参考にして、今後のキャリア教育の目指すべき方向性やキャリア教育に有効な方法論について分析し考察した。

2 方 法

(1) 調査研究 1

就実大学薬学部1年生から3年生約300人を対象に、自身の理系および薬学部への進路決定に際して、理科教育が果たした役割についてのアンケート調査および聞き取り調査を行い、結果を集計、分析した。

表1 アンケートの主な調査項目

理系キャリアへ進むきっかけや決めた時期
薬学部を知ったきっかけや進学を決めた時期、動機
印象に残った理科実験とその理由

(2) 調査研究 2

就実大学薬学部でこれまでに実施した種々のキャリア教育、キャリア関連行事(キャリアカウンセラーによる少人数職能開発講義、薬剤師体験、サイエンスカフェなど)における参加者の意見、感想を基に、その有効性を検討した。

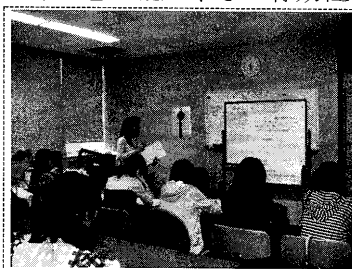
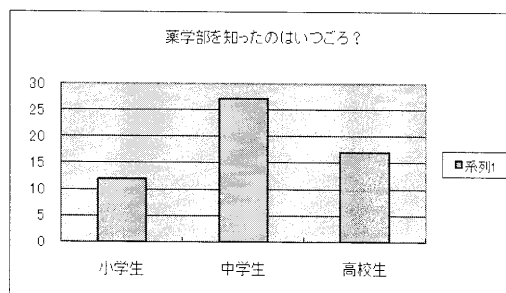
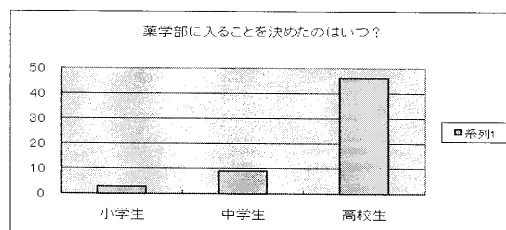


図1 キャリアカウンセラーによる職能開発講義

3 結 果

アンケート調査および聞き取り調査の結果、全体の1/3程度の学生は既に小中学校の時期に理系に興味を持ち、2/3以上の学生に同様に小中学校の時期に薬学部がインプットされていることがわかった。また半数以上の学生は小さい頃から理科好きで、多くの学生が理科実験によって理科のおもしろさに目覚めていることもわかった。さらに将来の具体的なキャリアの決定に際しては、職場体験やキャリア開発行事が重要な役割を果たしていることもわかった。



4 考 察

理系キャリアの形成には早期からのキャリア教育が必要であり、理科実験、職場体験やサイエンスカフェなどの理科体験行事、さらに専門のキャリアカウンセラーによる授業やカウンセリングなどが有効であると考えられた。

参考文献

- 1) 理科の教育 2010年6月号
特集「理科とキャリア教育」